

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)株式会社大晃運送様倉庫棟	階数	地上1階
建設地	京都府亀岡市	構造	S造
用途地域	都市計画区域外	平均居住人員	10人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,000時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年9月 予定	評価の実施日	2024年4月1日
敷地面積	6,632 m ²	作成者	井内千恵
建築面積	3,431 m ²	確認日	2024年●月●日
延床面積	2,976 m ²	確認者	〇〇〇

外観パース等
 図を貼り付けるときは
 シートの保護を剥離してください

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)
<p>BEE = 0.7 ★★☆☆☆☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>★☆☆☆☆</p> <p>30%: ★☆☆☆☆ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 100% ②建築物の取組み 79% ③上記+②以外の 79% ④上記+ 79%</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 2.2

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
Q1のスコア = 2.1	Q2のスコア = 2.5	Q3のスコア = 2.2
音環境: 1.0, 温熱環境: 1.5, 光・視環境: 2.4, 空気環境: 3.3	機能性: 2.7, 耐用性: 2.3, 対応性: 2.4	生物環境: 2.0, まちなみ: 3.0, 地域性: 1.5

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア = 3.9	LR2のスコア = 2.6	LR3のスコア = 2.6
建物外皮: 4.0, 自然エネルギー: 3.0, 設備システム: 4.0, 効率的: 1.0	水資源: 3.0, 非再生材: 2.5, 汚染物質: 2.1	地球温暖化: 3.0, 地球環境: 1.0, 周辺環境: 2.3

3 設計上の配慮事項		その他
<p>総合</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務所や食堂を道路から離れて位置に配置した。 		
<p>Q1 室内環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務所や休憩をする食堂の窓から山々が見えるように窓を配置し、道路から離れた位置に配置し騒音を感じない環境とした。 	<p>Q2 サービス性能</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務所はOAフロアとし天井高さ2.6m確保し広い執務空間とした。 	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <ul style="list-style-type: none"> 法面を緑化し生物環境の保全に配慮した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される